

「学力の三要素」と入学者選抜における「評価方法」との関係

◎：特に強く関連している
 ○：強く関連している
 △：関連している

選抜種別		評価方法	知識・技能	思考力・ 判断力・表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
総合型選抜	コミュニケーション方式	感想文		◎	
		面接	◎	◎	◎
		調査書	○		△
学校推薦選抜	指定校制	推薦書・調査書	○	◎	○
		小論文	△	◎	
		面接		◎	◎
	公募制	推薦書・調査書	○	◎	○
		小論文	△	○	
		面接		◎	◎
	卒業生子女併設校特別	推薦書・調査書	○	◎	
		小論文	△	◎	
		面接		○	◎
特別選抜	社会人 海外帰国子女	書類審査	○	○	
		小論文	○	◎	
		面接	△	◎	◎
一般選抜	全学統一方式 共通テスト利用	筆記試験	◎		
		調査書	△	△	△
	2月日程 3月日程	筆記試験	◎	○	
		調査書	△	△	△

本学科のアドミッション・ポリシーに合致した学生を受け入れるために、以下に示す選抜方法を実施する。

◆総合型選抜選抜

- ・日本文学・表現コースと心理学コースは、オープンキャンパスの体験授業に出席し、その感想文提出が二次面接に進む条件となる(思考力・判断力・表現力)。英語コースは二次面接が英語でのスピーキングになる(知識・技能)。いずれもコミュニケーションを重んじ複数回の面接で「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を主に評価する。調査書により「知識・技能」と「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」について主に評価する。

◆推薦選抜

- ・指定校制推薦は、調査書と小論文により「思考力・判断力・表現力」を、面接により「主体的に協働する態度」を主に評価する。
- ・公募制推薦は、調査書と小論文により「思考力・判断力・表現力」を、面接により「主体的に協働する態度」を主に評価する。

・卒業生子女推薦、併設校特別推薦は、調査書と小論文により「思考力・判断力・表現力」を、面接により「主体的に協働する態度」を主に評価する。

◆特別選抜試験

・調査書と小論文により「思考力・判断力・表現力」を、面接により「主体的に協働する態度」を主に評価する。

◆一般選抜

・筆記試験によって、主に「知識・技能」の面について評価し、記述式問題により「思考力・判断力・表現力」を評価する。